

宗岡二中だより

4月号



令和5年4月10日

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒



新たな門出

校長 伊藤大輔

さわやかに若葉が芽吹き、暖かな春の風に包まれながら、令和5年度が始まりました。希望や期待に胸を膨らませ122名の新入生を迎え、2年生107名、3年生133名を合わせた全校で362名で出発します。入学、進級おめでとうございます。

マスク着用の扱い等、コロナ禍での制約からもようやく解放されつつあります。継続と刷新のバランスを図りながら一人一人の生徒の成長に繋がる一年となるよう、教育活動を進めてまいります。

始業式・入学式で、こんな話をしました。

教育は「平和で民主的な国家及び社会の形成者」を育てる壮大な営みです。学校は、そこで学ぶ者が将来に渡って民主的な社会を築く力と感性を育む場です。民主的な社会を実現するには「お互いの自由を尊重し合う」ことが、何よりも大切です。ですので、「自分は大切。でも、相手はもっと大切。」ということに拘ってほしいのです。

人間尊重を追求する教育の目的を達成するために、本校は3つの「生徒像」を目標として掲げます。

一つ目は「自ら学び考える生徒」です。「わからないなあ」「もっとわかりたいなあ」という素朴な思いを起点に、自分をよりよく伸ばすために、見方や考え方を身に付けることができる生徒です。学校は学びの機会に溢れています。授業を中核に据え、さまざまな教育活動を通して、自ら学び考える力を培います。

二つ目は、「心豊かな優しい生徒」です。人を和ませ、お互いに助け合える「言葉」「行動」「習慣」を備えた生徒です。「わがまま」は自由の対極です。ましてや相手の自由を貶める「いじめ」は絶対に許されません。正義を貫く勇気を育てます。

三つ目は「明るく元気な生徒」です。早寝早起き朝ごはんをはじめ、体を鍛え、自らの力で健康で規則正しい生活を送る生徒です。体の健康・心の健康が、授業をはじめとする学校生活の基盤であることへの自覚を、あらゆる機会を通じて高めていきます。

先週金曜日、新年度を迎える準備を2年生と3年生が行いました。学校を支える者としての気概を感じさせる働きぶりで大変頼もしく感じました。黙々と献身的に作業に没頭する様子からは、主体的に取り組む望ましい生徒の姿を伺うことができました。

そうした成果をさらに伸ばしていくことができるよう、令和5年度も保護者・地域のみなさまのご支援、ご協力をお願いします。

最後になりましたが、私は4月1日に校長として着任いたしました伊藤大輔(いとう だいすけ)と申します。前任の中平校長先生はじめ、多くの人々によって紡がれてきた本校の良き伝統を受け継ぎ、近い将来子どもたちが社会を牽引するために必要な力と感性を、教職員一丸となって育ててまいります。どうぞよろしく願いいたします。